

島根県立石見美術館

特別展「没後 20 年 喜多村知の風景」の開催について

島根県立石見美術館では、特別展「没後 20 年 喜多村知の風景」を下記の通り開催いたします。つきましては、ご多忙のところとは存じますが、取材及び報道方よろしくお願いたします。

記

1. 会 期 平成 30 年 1 月 12 日 (金) ～3 月 12 日 (月)

休 館 日：毎週火曜日

開館時間：10:00～18:30 (展示室への入場は 18:00 まで)

2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室 C (グラントワ内)

3. 展覧会概要及び見どころ

洋画家・喜多村知 (きたむらさとる 1907-1997) は旧満州・大連市に生まれましたが、父の郷里である島根県津和野を出自としています。戦前から帝展や新文展、国展等で活躍し、1941 年には新文展特選および国展 F 夫人賞を得ました。戦時中の 1945 年には津和野に疎開し、島根県立津和野高等女学校 (現・島根県立津和野高等学校) で美術教師を務め、戦後は 1946 年に創立された島根洋画会に創立会員として参加するなど本県にも重要な足跡を残しています。1963 年のヨーロッパ遊学が転機となり作風が大きく変化した後、美術評論家で画廊主の洲之内徹に見出され、1976 年から同氏が経営する現代画廊で個展を開催しました。

本展ではこの洲之内徹に評価された 1970 年代の風景画を中心とする約 30 点の作品を一堂に展示し、単なる具象でも抽象でもない喜多村の風景画がもつ汲みつくせぬ魅力を紹介します。



喜多村知《北国海辺》1973 年 油彩・カンヴァス
島根県立美術館蔵



喜多村知《舟》1991 年 油彩・カンヴァス
あざかみ美術館蔵